

## スクールサポートルームを活用した不登校支援の課題について（中学校）

※令和 7 年 10 月実施、区が実施する施策等に関するアンケートの回答結果より

### 設問 3(1)

不登校支援に取り組むうえでどのようなことが課題となっていますか。

《回答》

#### <保護者対応>

- ・保護者の姿勢が協力的でない家庭の場合はつながることにさえ苦慮する。

#### <人材等の不足>

- ・学力支援の体制が十分とは言えない。人、もの、予算の補充。場所は SSR があるが、その監督を含めての協力体制をお願いしたい。

#### <対応における課題>

- ・担任が抱え込む傾向があり、なかなか社会資源に繋げることができていない生徒もいる。
- ・不登校支援で最も必要なことは学習支援である。さまざまな学習の形を提供し、選択できるようにしていただきたい。

#### <課題の多様化>

- ・SSR を利用する生徒のニーズが多岐化している。
- ・不登校生徒の要因が多様化している。

#### <支援の新たな形について>

- ・不登校を生まないために、学校がストレスの少ない、楽しいことがある、行きたいと思える場所である必要がある。学校の設備や行事を充実させるための支援をいただくとありがたい。
- ・具体的で有効な不登校支援がある程度整備されている中で、状況が膠着している生徒に対する新たな働きかけが課題である。

### 設問 3(2)

城東区不登校支援（SSR の活用や JOTO ふらっと等）についてのご意見、ご希望がございましたらお聞かせください。

《回答》

#### <人材スペースの不足>

- ・人的な大変さがあります。

#### <保護者への情報提供>

- ・JOTO ふらっとについての情報提供を親御様、本人にしたいが、カラーのパンフレット等をいただきたい。

⇒事業者に依頼予定です

#### <利用に関する課題>

- ・JOTO ふらっとは面白い取り組みだと思っているが、各生徒のニーズにあった講師とのマッチングが難しいようで、「やってみよう」と思ったタイミングで始まらないのが残念である。